

同志社中学校

グループ学習でも非常にスムーズに動けます LearnFitはICTとも相性がいいですね

同志社中学校(京都府京都市)

同志社は 1875 年に新島襄によって創立され、現在では大学、高等学校、中学校、小学校、幼稚園をもつ総合学園である。同志社中学では生徒一人ひとりを見守り尊重する教育を継承。キリスト教主義、自由な校風のもとで、考える力、感じる力、表現する力を徹底して養うことで、生徒一人ひとりの心を解き放ち、その知性と個性を存分に伸ばしていく「全人教育」を実施している。生徒 1 人 1 台の iPad 導入をはじめ、ICT 授業も積極的に展開している。図書・情報教育部主任で英語科教諭の反田 任先生に「LearnFit」導入について話を伺った。(取材: 2016 年 7 月)

<http://www.js.doshisha.ac.jp/jhs/index.html>



アクティブラーニングとは?

反田先生:アクティブラーニングの定義というのは難しく、「主体的な学び」と言われることもあります。生徒が協働的に学んだり、自ら課題を設定し、それに対する様々な情報やディスカッションを通じて、どのように課題に対して考えていくか、あるいはそれを解決していくか、というところを最終目標に行なう学習が【アクティブラーニング】ではないかと考えます。「アクティビティ」と「アクティブラーニング」と言う中で、生徒が動いて授業の中で活動するというだけで、アクティブラーニングと果たして言えるのかというのはよく考えないといけないと思っています。最終的には生徒自身が自分の設定した課題、あるいはグループで設定した課題に対して、調べた内容、あるいはディスカッションによってそのテーマに対してどのように自分が考え、自分なりの見方をできるようにするかというのがポイントなのではないかと考えます。



「生徒が自ら設定した課題に対してどのように解決していくか、という学習がアクティブラーニングではないかと思っています」(反田 任 先生)

ICT を活用した他校との交流授業

本校では生徒全員が個人の iPad を持っていて、学習ポータルサイトを活用して英単語や漢字の復習プリントなど教材をダウンロードしています。これを始めてからテストでの不合格率が非常に少なくなりました。自主的にダウンロードするということは、その時点でモチベーションが上がっているわけで、自然と勉強量が増えていると思いますね。

昨年度 2 年生の英語授業の取り組みでは、「将来の抱負」を英文で書いたものを、大阪の高校生に教育系 SNS で見てもらってアドバイスをもらいました。高校生と中学生同志で、「学び合い」が起こるんですね。もちろん教員も全てチェックしていますが、あえて口を出さないことで、生徒同士の学び合いが非常に活発に行なわれました。生徒たちには色々な学び方を知って欲しいと思いますね。こういった ICT の活用もアクティブラーニングと非常に相性が良いと思います。



全生徒が iPad を持っており、学習に活用している。各教科の授業で iPad が活用されていて、リアルタイムに画像や動画をプロジェクターに出力するなど、ICT を活用した新しい授業スタイルが試みられている

スタンディングデスク LearnFit 導入事例

ERGOTRON®
 EDUCATION

**テーマを与え、自主的に調べて発表する
アクティブラーニング**

本校では中間テストと期末テストでそれぞれ区切りがあるので、学期に1~2回プロジェクトに取り組む形でアクティブラーニング的な学習を行なっています。例えば今回3年生が取り組んだテーマは、教科書に出てきた広島市の平和記念公園の「原爆の子像」です。像のモデルになった人の生涯、どのような背景があったのか、原爆投下後の被害、原爆とは何か、などです。タイムリーにオバマ大統領の広島訪問のスピーチもありましたので、それも含め、広い視点で生徒にプレゼンテーションを組み立てさせて発表させました。生徒が自主的に調べ、ディスカッションし、最後に発表と言う形です。

様々なシーンで活用できる LearnFit

LearnFit のような机があるという情報を聞いて、非常に嬉しく思っていて、欲しいと思っていました。スタンディングデスクとしてすぐにグループを組み替えられたり、立った状態で授業を受けることによって、気持ちの上でもアクティブになるのではないかと思います。例えばグループを組み替える時もすぐに動けます。座ってどっしり構えないので、自分で何か考えようという意識が出てきます。能動的になるので、考えようとする意識が生まれやすいのではないかと思います。生徒がグループで1つのことを協働で作業しよう、というような際に非常にスムーズです。アイディア次第で色々使えますね。発表時の演台として利用することもできますし、私はプロジェクターと組み合わせて使うことも多いです。



グループ学習の際に生徒の移動も非常にスムーズ

生徒には自然に受け入れられました

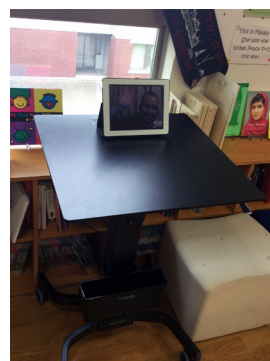
例えば Skype を使ったオンライン英会話の講師の先生との英会話の授業では、グループで会話をするのですが、その際に1台のiPadのSkypeに対して34人が順番に入ることになります。Skypeを見る時に、座って横に3人並ぶと見にくいですね。でも、スタンディングで、四方取り囲むような形で見るということは生徒にとっても機能的で、自然に受け入れられています。座ったままの時に比べて、アクティブに会話が弾んでいるという傾向が見られたように思いますね。



Skype を活用した ICT 授業の様子。グループで順番に話す際にも、立っているで画面を共有しやすい。

今後の展望と取り組み

現在はLearnFitを10台活用しているのですが、ハーフサイズの教室で3人一組ぐらいで使わせることが多いですね。今後はLearnFitを20台ぐらい入れたアクティブラーニングをメインにした授業ができる教室も作ってみたいと考えています。



アイディア次第で様々な場所で LearnFit を活用している



■ お問い合わせ先

ERGOTRON® エルゴトロンジャパン株式会社
<http://www.ergotron.com/>
TEKWIN®

エルゴトロン輸入元・正規代理店

テックウインド株式会社

 〒113-0034 東京都文京区湯島3-19-11 湯島ファーストビル7F
 TEL:03-4323-8607 Mail:ergotron@tekwind.co.jp
<http://www.tekwind.co.jp>

■ 正規販売代理店・取扱店